

# 東京の林業振興の展開 (令和8年度)

# ■ 目次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 東京の森林の機能と林業の役割・・・・・・・・・・ 3
- 東京の森林・林業を取り巻く状況・・・・・・・・・・ 5
- 現状及び令和8年度の主要な林業施策・・・・・・・・ 7



## ■ はじめに

都では、令和7年度における「東京の林業振興に向けた専門懇談会」の専門家の皆様からいただいたご意見を参考に、令和8年度に取り組む主な施策を取りまとめました。

東京の林業の可能性を一層引き出していくため、令和8年度ではテーマを4つ「新たな人材活用等による林業従事者の育成」「高性能林業機械の導入加速とロボット開発」「伐採量の拡大と収益力の強化」「民間企業のビジネスを呼び込む森林づくり」と設定しました。

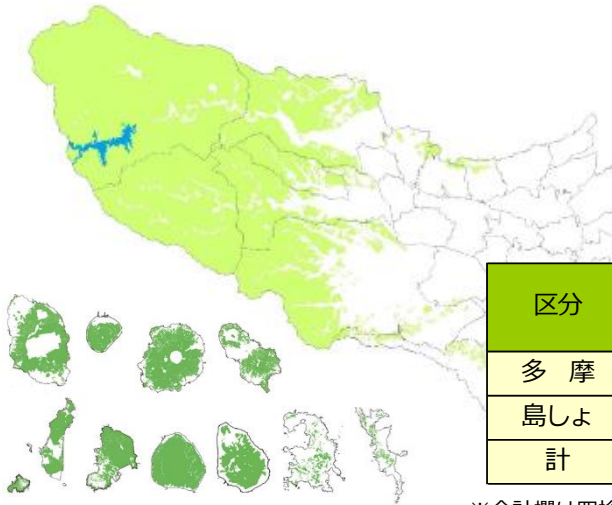
東京の森林・林業への理解を深めていただくため、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。



# 東京の森林の機能と林業の役割

## 東京の森林

東京には、約79,000haに及ぶ森林があり、そのうち、多摩地域にはスギやヒノキ等からなる人工林のほか、多様な樹種で構成される天然林が広がっています。島しょ地域には、天然林を主とした森林があり、島ごとに特徴ある景観を形成しています。



[ha]

区分	民有林面積			国有林	計
	人工林	天然林	未立木地等		
多摩	30,763	20,370	538	1,182	52,853
島しょ	3,274	14,754	1,143	6,521	25,692
計	34,037	35,124	1,681	7,704	78,545

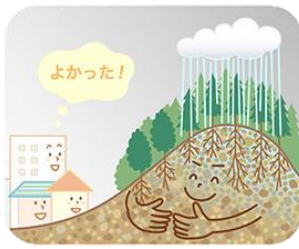
※合計欄は四捨五入の関係で 出典：令和7年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）  
合わない場合がある。

## 森林の多面的機能

水源の涵養、土砂の流出防止などの公益的機能のほか、木材の供給など多面的な機能を発揮しています。



水源涵養



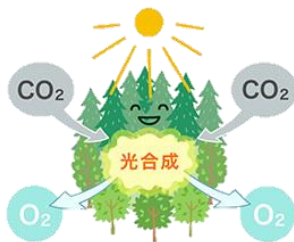
土砂災害防止  
/土壌保全



快適環境形成



生物多様性保全



地球環境保全



保健・レクリエーション



物質生産

## ■ 地域振興に貢献し健全な森林を育成する林業

森林整備の一翼を担う林業は、持続的に雇用を生み出し、地域振興に貢献しています。

また、人工林は、間伐などの適切な手入れを加えることで、立木の生育が良くなります。加えて、林内に適度な光が入ることで下草などが繁茂し、水源涵養機能などの公益的機能が向上します。



下層植生が衰退した人工林



適切に間伐された人工林

## ■ 木材を利用する意義や効果

木材を利用することで、その収益が木材生産活動に還元され、人工林を伐って利用し、植え替え、育てていく循環「森林循環」が促されます。森林循環は、若い人工林が生長する過程で二酸化炭素を多く吸収するため、地球温暖化対策につながります。

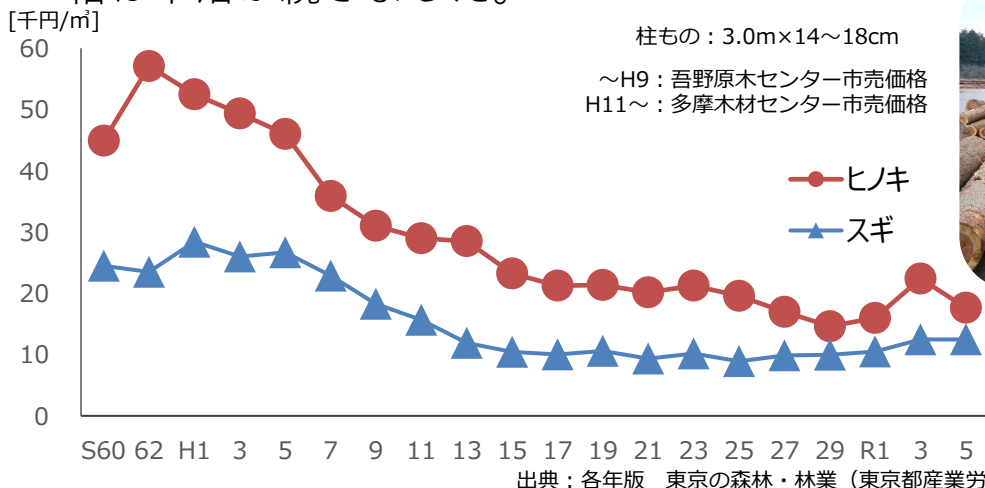
また、燃料として活用すれば、その分だけ化石燃料の使用を減らすことができます。



# 東京の森林・林業を取り巻く状況

## 木材価格（丸太）の推移

戦後の高度経済成長期に増大した木材需要に対応するため、昭和30年代を中心にスギやヒノキが広く植栽されました。社会情勢の変化とともに東京の木多摩産材（以下「多摩産材」という。）の価格は下落が続ききました。



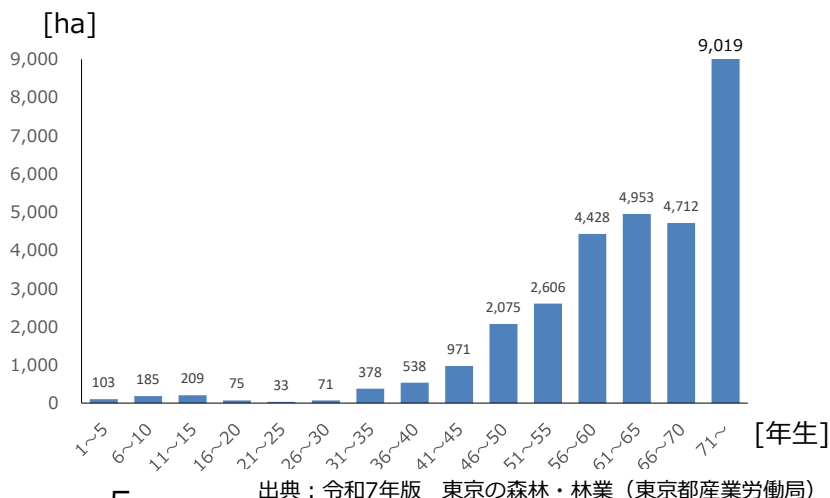
その結果、木材の販売収入だけでは人工林に適切な手入れを施し、伐採や再生林を行うためのコストが賄えなくなり、森林循環が停滞しました。

このようにして、多摩地域の林業は大きな打撃を受け、林業従事者が減少し、製材業等の廃業が相次ぎました。都では、様々な施策に取り組んできましたが、林業経営にとって厳しい状況が続いています。

## 人工林（針葉樹）の林齢別面積

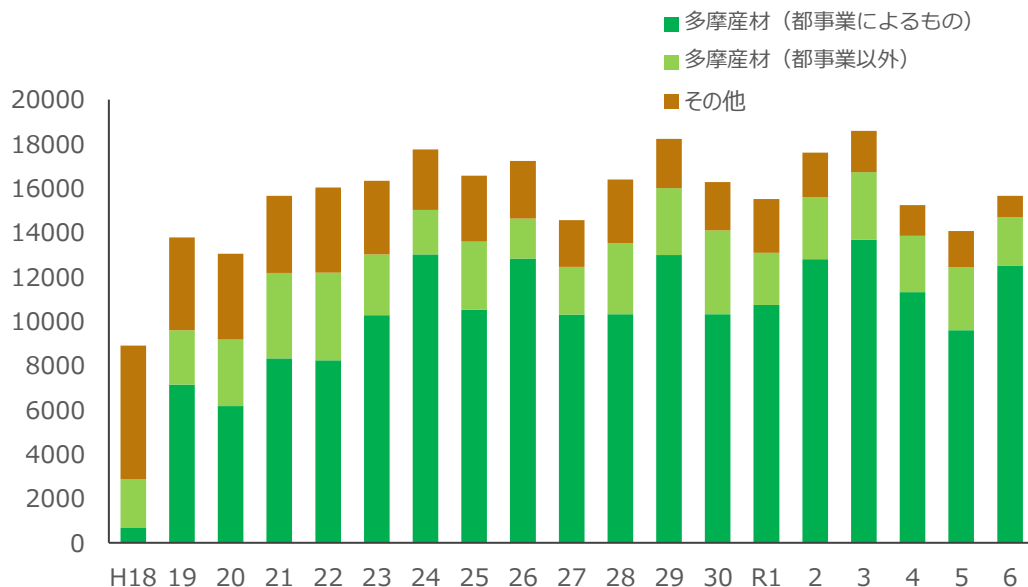
多摩地域の人工林の多くは利用されないまま蓄積量が増加し続けています。

現在は、木材として利用可能な50年生以上の人工林が約8割を占めています。



## ■ 原木市場における多摩産材の取扱量

森林循環の停滞を背景に、都は平成18年度から、利用期を迎えたスギ・ヒノキ林の伐採・搬出と、花粉の少ないスギ等への植え替えを開始し、多摩地域の森林循環の促進と、多摩産材の安定供給、花粉飛散量の削減を図っています。都の取組を着実に進める一方で、民間による人工林の伐採・搬出も行っていく必要があります。



出典：令和7年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）及び東京都調べ

## ■ 所有者・境界が不明の森林

森林整備の推進には、対象となる森林の所有者と境界の把握が不可欠です。しかし、多摩地域の森林は、所有面積5ha未満の森林所有者が約9割を占め、小規模・分散的な所有構造である上に、複数の所有者がいる共有林もあり、登記情報が更新されていない森林も多く見受けられます。

また、所有者の世代交代が進むにつれて、所有者や境界がわからない森林は一層増加しています。

所有規模別森林所有者数及び面積

区分	5ha未満	5~10ha	10~20ha	20~50ha	50ha以上	計
所有者数	8,825	570	366	235	122	10,118
面積[ha]	7,379	3,991	5,054	7,354	27,894	51,671

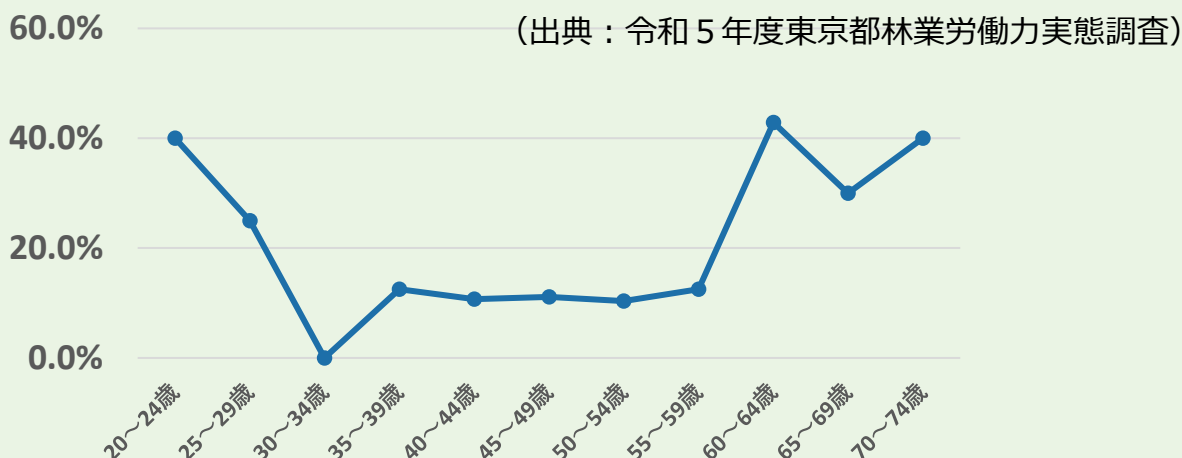
出典：令和7年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）

# ■ 現状及び令和8年度の主要な林業施策

## 1 新たな人材活用等による林業従事者の育成

### 現状1 20代、60代以上で離職率が高い傾向

#### ■ 都内現場従事者の離職率（年齢別）

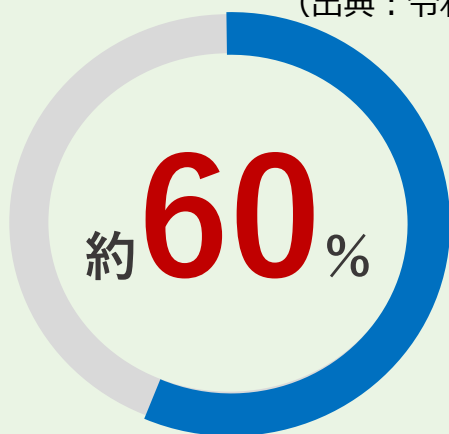


#### ■ 異業種等からの人材の呼び込み、育成と定着を促す

### 現状2 現場従事者の約60%が経験年数15年以下であり、経験豊富な熟練者は少ない

#### ■ 都内現場従事者のうち、経験年数が15年以下の割合

(出典：令和5年度東京都林業労働力実態調査)



#### ■ 新規参入者や経験が浅い人も活躍できる環境づくりを促進

東京の森林・林業の更なる振興を図るため、以下の施策に取り組んでまいります。

## 施策1 労働力の確保

- 事業者の参入を促すため、住宅借り上げ助成金の上限を引き上げるほか、家族向け住宅も支援対象に追加【**拡**】
- 林業経営体等が雇用体制の確保（特定技能人材の活用等）に向けた検討を後押しする説明会の開催【**新**】

## 施策2 林業従事者の定着

- 暑熱対策等への支援強化により、林業経営体の負担軽減を図るとともに、従事者の労働安全向上と雇用環境を改善【**拡**】



炎天下での下刈作業

技術指導の様子

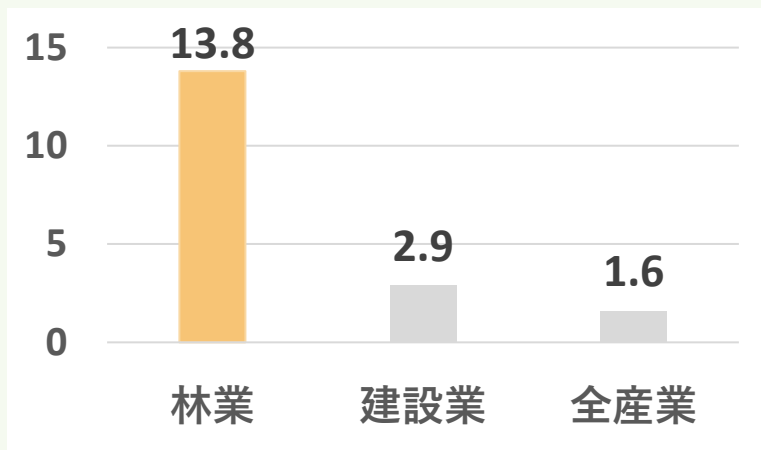


## 2 高性能林業機械の導入加速とロボット開発

### 現状 1

他業種と比較し、全国的に労働災害の発生率が高い傾向

- 東京都における産業別死傷千人率（令和5年）



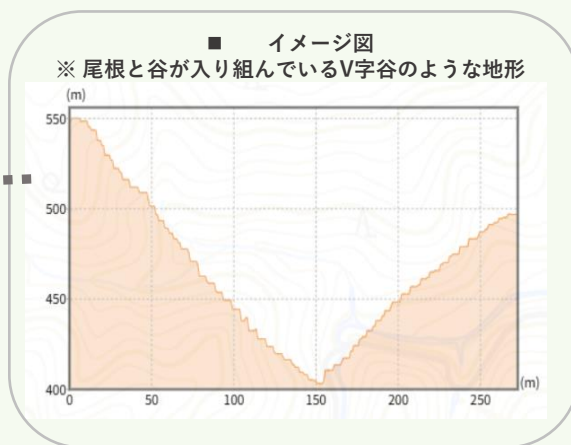
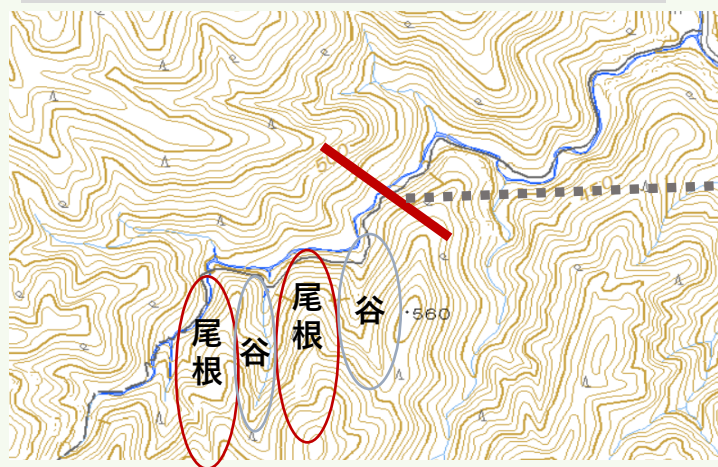
※労働災害による死傷者数  
（1年間/1,000人、休業4日以上）

- 安全を考慮した高性能林業機械の導入等を促進

### 現状 2

機械化による作業の省力化や生産性の向上が期待されているが、東京の急峻な地形等が導入を制限

東京都内の特徴的な地形



- 林業従事者の負担を軽減

## 施策1 高性能林業機械等の導入

- **遠隔操作**の機能を搭載した**伐倒機**や**フォワーダ**といった機械の導入を支援
- **高度な技術**を持つ**オペレータ**の操作方法を習熟するため、**研修会**の実施や**先進地域**の**実地視察**等を充実



遠隔操作による伐倒



操作説明の様子

## 施策2 ロボット等の開発

- 先進地域や他産業で実装されているロボット等※を**急傾斜な地形**等**東京特有**の現場に導入できるように、**カスタマイズ**を行う**スタートアップ**等を支援 **【新】**

※ドローンの活用や既存機械の遠隔操作化、林業DX化等を含む



ドローンによる苗木運搬



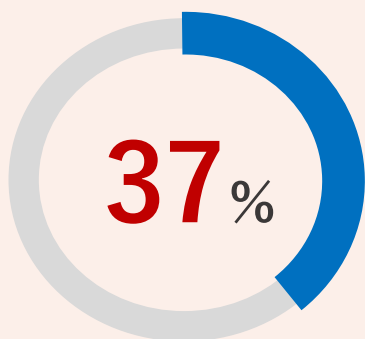
機械による枝打ち

### 3 伐採量の拡大と収益力の強化

#### 現状 1

先進林業機械や集材用大型トラックが走行できない狭い林道などが伐採量拡大のボトルネック

- 多摩地域における林道から400m以内の人工林の比率



- ✓ 木材置き場や作業スペースが少ない
- ✓ 大型機械等が通行するための整備が不十分

(東京の森林・林業及び東京都調べ)

多摩地域における林道 (イメージ)

- 機械化に対応できる規格に林道を改修

#### 現状 2

市場での取扱量の8割が財団による主伐材、A材、B材以下は各事業体が販売先を模索

原木価格 (イメージ)	
	<p>主にチップ用 原木の買取価格は一般的には最も安い</p> <p>7,000円 / m<sup>3</sup></p>
	<p>主に合板用</p> <p>13,000円 / m<sup>3</sup></p>
	<p>主に製材用 原木の買取価格は一般的には最も高い</p> <p>15,000円 / m<sup>3</sup></p>

都内で唯一の原木市場  
(多摩木材センター協同組合)

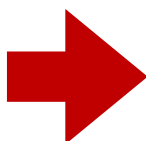


※価格は「令和6年木材需給報告書」のすぎ・針葉樹を参照

- 今後、増加が見込まれるB材以下の有利販売による収益力の強化

## 施策1 伐採量の拡大

- 重要なインフラである**林道**の整備を加速するため、大型林業機械等の導入を優先する路線において、**個別の整備計画**を作成【**拡**】
- 重点的な整備ポイントとして、**橋梁**の耐荷重や道幅の改善・改修や、**転回場**や**土場**の増設【**拡**】



多摩地域における林道改良工事の事例

## 施策2 収益力の強化

- 多摩産材を取り扱う**原木市場**の敷地拡張による**作業面積の増大**と**機能強化**を支援
- **B材以下**の木材がより**利益**を出せるように、バイオマス発電等の**活用方法**や**サプライチェーン**の構築を**検討**する調査を実施【**新**】



原木市場のはい積み



中間土場のイメージ

## 4 民間企業のビジネスを呼び込む森林づくり

### 現状 1

森林の空間利用に対する機運の高まり  
企業、自治体による森林循環の確立に向けた取組

#### 東京都における取組（例）



森林づくり親子体験キャンプ



花粉の少ない森づくり運動



とうきょう森づくり貢献認証制度



とうきょう林業サポート隊

■ 森林サービス等を活用した新たな価値づくり、民間企業の活用

## 施策1

## 民間企業のビジネスを呼び込む森林づくり

- 木育や木材利用の普及啓発に貢献する現場見学ツアー等イベントを行う民間企業等を支援【新】



- 森林の価値をビジネスに活用しやすくするために、状況をより正確に把握するため、航空レーザ計測のデータを活用した森林情報の基盤整備を推進【拡】
- 企業の投資等を呼び込むため、複数の所有者をとりまとめ、一定面積のフィールドを確保し、企業と集約化した森林をマッチングする手法の検討を開始



東京都産業労働局農林水産部森林課  
東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号  
TEL.03-5320-4854